

KAMA AYURVEDA

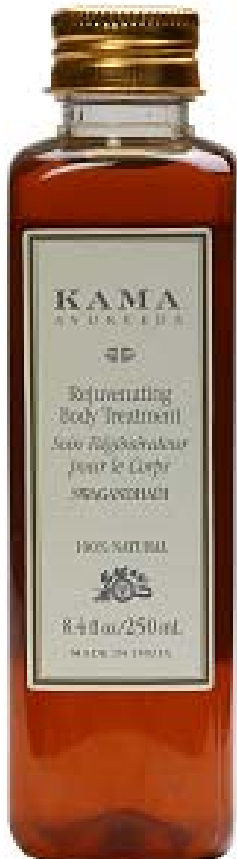


[報道関係各位]

2008年7月8日
Quady(クワディ)有限会社

6000年前からインドに伝わる成分を忠実に再現 インド政府認定ブランド、KAMA AYURVEDA (カーマ アーユルヴェーダ) 「スワガンダージ (マッサージオイル 顔・体用)」 7月14日 (月) 日本上陸

6000年前から伝わる生命と健康の科学、“アーユルヴェーダ”を忠実に再現し、世界19カ国で販売され高い評価を得ているインド化粧品、カーマ アーユルヴェーダ(KAMA AYURVEDA)日本総輸入元、Quady有限会社(本社:東京都港区、取締役:桑島陽子)は、古来よりインドに伝わるマッサージオイル「スワガンダージ(マッサージオイル 顔・体用)」を7月14日(月)よりインターネットにて発売を開始いたします。



カーマ アーユルヴェーダ 「スワガンダージ(マッサージオイル 顔・体用)」

原産国: インド

サイズ: 250ml

販売価格: 12,800円(税込)

成分: ホエイ(乳清)、セラック、ウイタニアソムニフェラ根、シダルホンビフォリアエキス、ゴマ油、カンゾウ根、ニンフォエアアルバ花エキス、ナンキョウソウ根エキス、ジンコウ茎エキス、シノンドクチロン末、クルクミン、ハマスゲ根、ハス花エキス、アカネ根末、ビャクダン木エキス、ベチベル根末、ヘミデスマスインディクス根末、ヒマラヤスギ木油、アオモジ果実油、イノンド末、ラベンダー油、ハッカ油、アネトール

※ 画像データ、およびサンプルをご希望の方はお気軽にご連絡ください。

【スワガンダージ(マッサージオイル 顔・体用)について】

アーユルヴェーダの、“Sahasrayogam(サハスラヨガム)”という経典での伝統的な名称は、“Balaswagandhadi(バラスワガンダージ)”という長い名前のマッサージオイルです。 (→添付「Sahasrayogam アーユルヴェーダ経典」)

3つのドーシャ(体質)に共通のオイルですので、ご自分のドーシャを誤認する心配がなく、ヴァータ、ピッタ、カパのいずれかが乱れている場合でもドーシャのバランスを整えることができます。

男女兼用、お子様にもご使用いただける、非常に優しいオイルです。
疲労回復を促すマッサージオイルとしてだけでなく、メイク落とし、フェイスマッサージ、
日中の保湿クリーム代わり、としても使用できる優れものです。

スワガンダージ(マッサージオイル 顔・体用)でマッサージをすることにより、毛穴の汚れを洗浄、栄養たっぷりのオイルで肌を健やかに、血行を良く、むくみと精神的なストレスを軽減、リラックス(瞑想)状態を高め内面から健康と美を高めていきます。

ホエイ(乳清)と、アーユルヴェーダには欠かせないゴマ油に、肌を滑らかにクールダウンさせる効果の高いハーブを20種類以上も配合しました。 (→添付「ゴマ油vs日焼け&老化」)
ハーブは全てインド国内で自生しているもの、又はオーガニック栽培された植物を手作業で収穫した物を使用しており、100%ナチュラルです。

厳しい自然環境に耐えて成長した植物は生命力が強く、アンチエイジングに欠かせない「抗酸化作用」も強いといわれており、インド特有の強烈な紫外線と乾燥からインド女性の素肌を守り続けています。



【Quady(クワディ)有限会社について】

インド・アーユルヴェーダ化粧品、「KAMA AYURVEDA (カーマ アーユルヴェーダ)」の日本総輸入元として設立されたQuadyは、取締役の桑島陽子が知人を通じて出会ったカーマ アーユルヴェーダ(KAMA AYURVEDA)社CEO、ヴィヴィック・サーニから日本での販売・商品サポートを任されています。

取締役の桑島陽子(くわしまようこ)はフランス、イギリス、アメリカ在住後、外資系企業数社を経て、ゴールドマン・サックス証券会社を籍中に、カーマ アーユルヴェーダ(KAMA AYURVEDA)社の依頼により会社を設立し、「KAMA AYURVEDA (カーマ アーユルヴェーダ)」の日本導入を手がけました。



【当資料に関するお問い合わせ先】

KAMA AYURVEDA日本総輸入元

Quady(クワディ)有限会社

東京都港区虎ノ門4-3-1 城山トラストタワー27F

取締役 桑島陽子

TEL: 03-5404-8559 Fax: 03-5404-8585 Cell: 090-6109-3260

E-mail: quady@w3.dion.ne.jp

URL: <http://www.quady.jp>

(添付)

Sahasrayogamアーユルヴェーダ経典

サンスクリット語で、Sahasra=1000、Yogam=調合。つまり「1000種類の調合方法」という意味です。

「伝統的なアーユルヴェーダの経典」と、「昔から家庭で実践されてきた健康法」の両方の中で最も効果的な調合を編集した物です。

ケララ(アーユルヴェーダ発祥の地)に伝わる経典のなかでも、何世紀にもわたって最も一般的に広まっているものです。

さらに、調合の内容が本物であり、製品化して多くの方に使用していただくのにふさわしいとして、インド政府によって公認された57のアーユルヴェーダ経典のうちの1つでもあります。

インド政府のアーユルヴェーダ研究機関(※)によって、本も出版されており、ますます身近な文献になりました。

(※) Central Council for Research in Ayurveda and Siddha (CCRAS)

ゴマ油vs日焼け&老化

(ゴマ油 vs 日焼け)

ゴマ油やオリーブ油などの植物油は、紫外線(UVB)をいくらか吸収する働きを持っており、サンバーン(日焼けによるやけど)を防ぎ、綺麗にやくために使用されてきました。

ゴマ油を使用しているスワガンダージ (マッサージオイル 顔・体用)も日中お使いいただけます。

近年の極端な紫外線からお肌を守るため、更に日焼け止めのご使用もお勧めいたします。

(ゴマ油 vs 老化)

アーユルヴェーダでは欠かすことのできない「ゴマ油」。

マッサージに、スキンケア、うがい、鼻の洗浄、にと大活躍です。

アーユルヴェーダのゴマ油は、重要な栄養分を壊さないように、焙煎せずに絞ったままの物を使いますので、料理などで使うゴマ油のような香ばしい香りはしません。

カーマ アーユルヴェーダの配合にもあるように、多くの植物性オイルが使用されますが、その中でも最も良いと言われているのが「ゴマ油」。

しかしながら、**本格的なアーユルヴェーダではゴマ油のみで使用することはありません。**

他のハーブとの絶妙な組み合わせでそれぞれの効果を最大限引き出しているのです。

ゴマはミネラル分が豊富なだけでなく、アンチエイジングの味方の抗酸化作用が非常に強いので、ゴマ油自身が酸化しにくく腐りにくいのです。

昔からインドの人はゴマの素晴らしい効用を知っていたんですね。